



日本・世界の経済・財政

北海道大学法学研究科・公共政策大学院

「宮脇淳教授のニュースレター」

国と地方の財政・金融そして公共政策の面から研究。地域に足場を持ちながら今後の制度設計や地域経営のあり方等、国そして各地域の実践的課題に挑戦。

日本経済・為替相場の実相

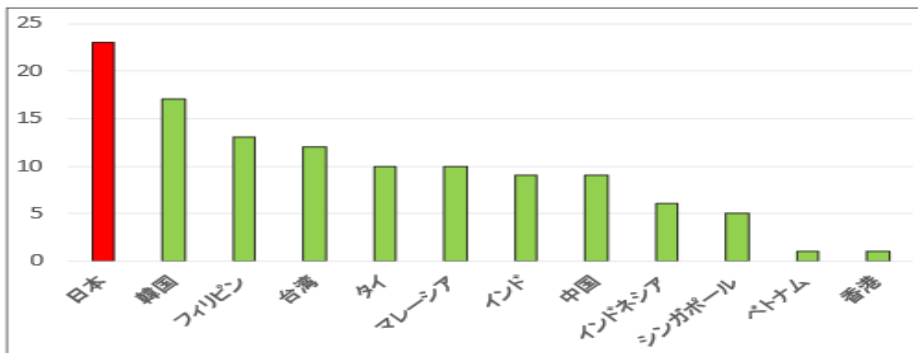
2022/10/17 第 861 号

朝日田コーポレーション

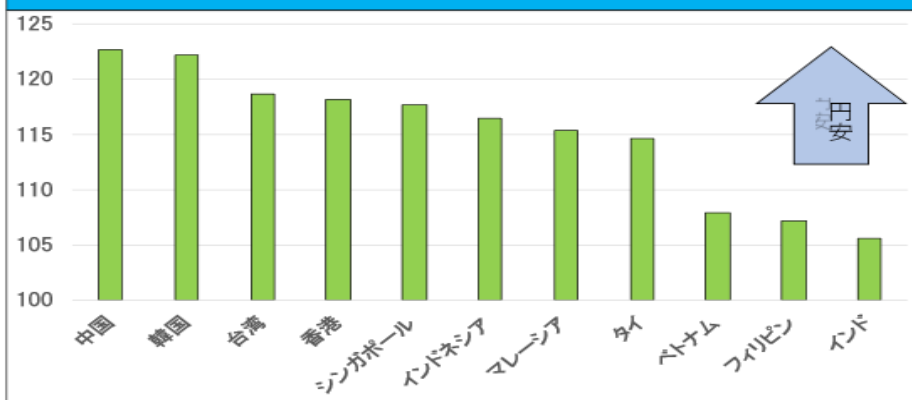
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp

●ホームページ: <http://www.sapporo-php.co.jp>

(再掲)アジア諸国通貨の下落率
-対米ドル相場2022年9月過去1年-



アジア諸国通貨の対円上昇率
-対円相場2022年9月過去1年(2021年9月=100)-



(資料)各国通貨為替市場データより作成。

日本円の為替相場での下落が続いており、10/14には1米ドル=147円台後半にまで円安が進み150円台を睨む動きとなっている。30年前の水準に戻っている。しかし、日本経済の競争力、実力に関して対米ドルや対ユーロだけで見るとは適切ではない。なぜならば、過去10年間、企業のグローバル化に伴いアジアとの関係も一段と高まっており、対アジア通貨との関係を注視する必要がある。前週の本レポートで紹介したように2021年9月から2022年9月までの1年間でアジア通貨で一番対ドルレートが下落した(上図再掲)のは日本円、一方で対円に対してアジア通貨はいずれも上昇しており、日本の円は主要通貨に対し全て下落、競争力を落としている。